

選挙人名簿抄本の閲覧状況の公表

問 選挙管理委員会（総務課） ☎84-0310

公職選挙法の規定により、各市区町村選挙管理委員会は、毎年少なくとも1回、選挙人名簿抄本の閲覧状況について公表することとなっています。

平成27年度中の選挙人名簿の抄本の閲覧申出者は、次のとおりです。

閲覧できる場合

- 1 特定の者が選挙人名簿に登録された者であるかどうか確認するために閲覧する場合
- 2 公職の候補者等、政党その他の政治団体が政治活動・選挙運動を行うために閲覧する場合
- 3 統計調査、世論調査、学術研究その他の調査研究で公益性が高いと認められるもののうち政治・選挙に関するものを実施するために閲覧する場合

平成27年度の選挙人名簿抄本の閲覧状況

閲覧年月日	申出者の名称	代表者又は管理人の氏名および主たる事務所の所在地（※閲覧申出者が法人の場合）	利用目的の概要	閲覧に係る選挙人の範囲
平成27年10月23日	読売新聞東京支社 横浜支局	読売新聞東京支社横浜支局 支局長 栗田 倫孝 横浜市中区山下町51-1	世論調査の対象者を抽出するため。	吉田島地区 (45件)

平成27年度の在外選挙人名簿抄本の閲覧状況

期間中の在外選挙人名簿抄本の閲覧は、ありませんでした。

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

問 総務課 ☎84-0310

情報公開制度と個人情報保護制度の運用状況をお知らせします。

平成27年度の情報公開制度運用状況

全部公開	一部公開	非公開	その他	合計
1件	7件	0件	0件	8件

平成27年度の個人情報保護制度運用状況

開示請求件数	訂正請求件数	是正の申出	合計
3件	0件	0件	3件

情報公開制度とは

町が持っている情報を皆さんからの請求に応じて公開する制度です。公開請求された情報は原則として公開しますが、個人に関する情報など条例で定める非公開情報は公開できないことがあります。

公開請求をする場合は公開請求書の提出が必要となります。

個人情報保護制度とは

町が持っている個人情報を適正に取り扱うためのルールを定めるとともに、本人からの請求に応じて自己情報の開示や訂正などを行う制度です。個人情報を取り扱う町の事務については、事務の名称などを記載した登録簿を作成していますので、どのような情報が登録されているかを探して閲覧することができます。

開示請求をする場合は開示請求書の提出が必要となります。



あじさい公園発電所

あじさいまつり期間中はたくさんの人でにぎわうあじさいの里。舞台棟のあるあじさい公園横の水路の中で何やらぐるぐるとなんか回っているのをご存知ですか？これはいったい何？早速調べてみることにしました。

○これが発電所?!

水路を流れる水の中で、ぐるぐるとまわる緑色をしたらせん状の大きな物体。そばにある掲示板には「開成町あじさい公園発電所」とあります。掲示板の説明を読んでもみると、この設備は「開放型らせん水車」という形式の発電設備で、上流から流れる水をらせん状のブレード（スクリーン）に受けて水車を回転させるというものです。

「水車の回転速度は1分間に約50回転で、これを増速機で25倍の回転速度まで上げて発電機に伝えて発電する。」とあります。

○なぜここで発電?!

どうしてこの場所でこうした仕組みの発電をすることになったのでしょうか？町の担当である企画政策課の木村さんに聞いてみました。

「設置のきっかけは、東日本大震災やCO₂の削減に向けた取り組みでした。環境への負荷が少ない再生可能エネルギーとして、水力発電の導入を検討しました。」

では、どんな方法で再生可能エネルギーを生み出していくのでしょうか？「開成町は町域全体が平坦、つまり山がないので、大きな高低差を利用した発電は難しく、また、町域

が狭いので、大規模な面積の施設を設置することも難しいという結論に至りました。

そこで、水路が網の目のように張り巡らされ、豊富な水が年間を通して流れている、という町の特徴を生かそう！ということになりました。」

そして、平成26年度、神奈川県「市町村再生可能エネルギー導入支援事業」で、県の持つ水力発電の技術・ノウハウを活用して設置され、その後、町へ有償譲渡されました。

○設置から1年、これからの展開は?!

あじさいまつりのメイン会場となっているあじさい公園横の武永田用水路に設置された「小水力発電設備」。

長さ4・5m、直径1メートルのらせん水車は、神奈川県内で初めて採用された方式だそうです。最大出力は2・2kw、発電した電力はあじさい公園の公園灯5基の電源として利用され、昼間は電力会社に売電されているそうです。設置から1年が経過し、流れてきた草の除去や大雨時の対応などの課題も見えてきました。「さらに再生可能エネルギーを絡めた環境教育の充実を図り、開成町らしさの発信につなげていきたいですね」と木村さん。



発電の実績を3ヶ月に一度「広報かいせい」でお知らせしています。

まちづくり情報特派員 石崎 雅美

（取材を終えて）再生可能エネルギーと聞くと「太陽光発電」くらいしか思い浮かばなかったのですが、今回取材を通して、開成町ならではの「水路を流れる豊富な水を使う方法があることを知りました。これからも開成町らしい方法でエネルギーの地産地消が進むことを期待しています。」



町企画政策課の木村啓章さん